

多摩川や世界の水辺を調べよう

小学校中学年～高学年

理科「動物の誕生」 総合「環境」

環境教育の視点

人と環境の学習を通して人も自然の一部であることを理解し、自然とともに生きていこうとする共生の視点と態度を養う。

指導のねらい

身近にある多摩川と世界の水辺の違いを観察し考える。
観察することで、生命や自然を尊重する精神と環境の保全に寄与する態度を養うこと、生活に関わる自然環境について理解し、処理する基礎的な能力を養うことを目標とする。

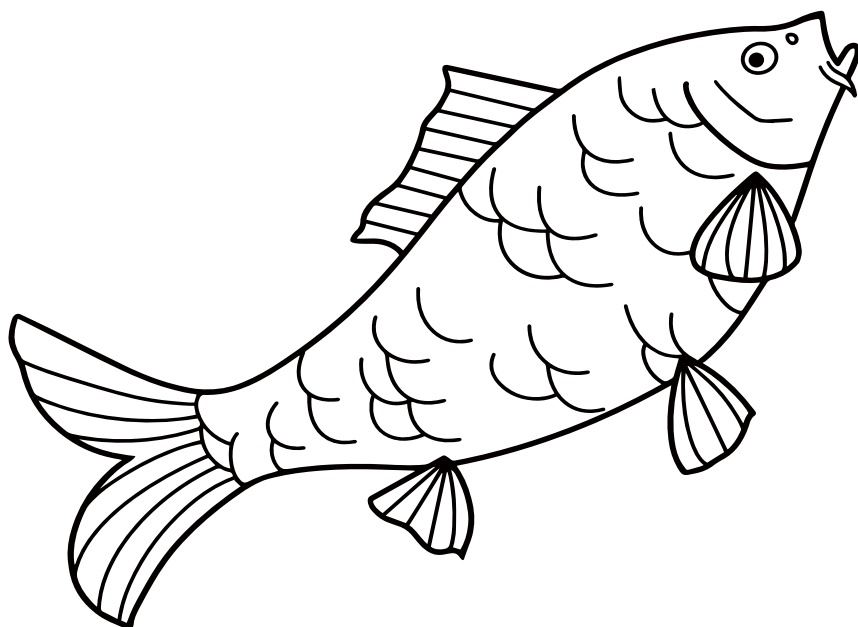
単元の展開

学習活動と学習内容	活動内容
<p>事前学習 (1)多摩川で見たことがある生きものや植物を書き出し、発表する。 (2)水族館のスタッフに聞いてみたいことを考える。</p> <p>水族館当日 (1)観察シートを基に多摩川ゾーンで上流・中流・下流の生きもの・環境の違いを観察し、ワークシートに記入する。 (2)数種類ある世界の水辺から自らエリアを選択し、観察シートに記入する。</p> <p>事後学習 (1)同じ多摩川でも上流や下流によって何が違うのか、何故違うのか話し合う。 (2)世界の水辺で自分が調べたエリアの特徴を発表し、多摩川（日本）との違いを考える。</p>	<p>■使用ワークシート 「事前学習シート①」 (1)児童が知っている川はごく一部であり、上流から下流までの流れがあることや、生きもの、環境の違いを考えるきっかけとなる。 (2)水族館の仕組み・役割を考える。</p> <p>■使用ワークシート (1)「観察シート②-1」 (2)「観察シート②-2」 ⇒気づいたことや興味を持ったものを書き出す。</p> <p>■使用ワークシート 「事後学習シート③」 補助資料「各エリアの解説」を基に児童の説明を補足する。 現在の環境活動が活かされ、生きものが生息している。</p>

カワスイ

川崎水族館

多摩川や世界の水辺を調べよう



事前学習シート①

学校名

年 組 名前

多摩川について考えてみよう

多摩川には何がいるかな？

山梨県・東京都・神奈川県を流れる多摩川には様々な生きものたちがいます。

みなさんが見たことがある生きもの、聞いたことがある生きもの名前を書いてみましょう。

水族館の人に聞きたいことを書いてみよう。

多摩川を調べよう

お気に入りの生きものの絵を書いてみよう

他にはどんな生きものがあるか、名前を調べて書いてみよう

上流

中流

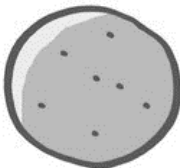
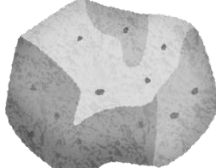
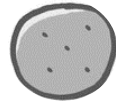
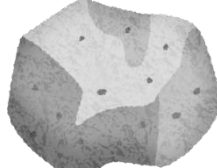


下流

石の大きさや形は？ 水槽をよく見て、正解だと思うほうに○をつけよう

上流

中流

下流

〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕
大きくて丸い	大きくて角ばっている	小さくて丸い	大きくて角ばっている	小さな石や砂	小さくてゴツゴツ
					

ヒント① 水槽の位置

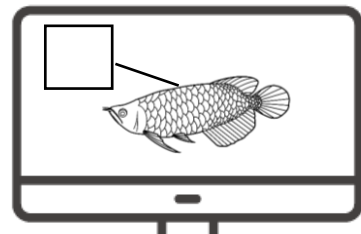
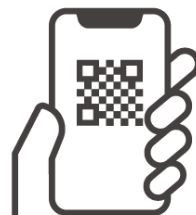
ヒント② 生きものの名前

水槽近くのQRコード読み取り
モニターでの読み取り

上流

中流

下流



世界の水辺を調べよう

調べたエリア [_____]

お気に入りの生きものの絵を書いてみよう

他にはどんな生きものがあるか、名前を調べて書いてみよう

エリアの特徴やおもしろいと思ったところを書いてみよう

